



あまみ



コクトくん

© Amami city

第39号

平成27年12月発行

市議会だより



奄美文化センター（第30回国民文化祭八月踊り）10月31日撮影

第3回定例会

平成27年9月7日～10月9日

発行／奄美市議会

編集／奄美市議会だより編集委員会

〒894-8555

鹿児島県奄美市名瀬幸町25番8号

TEL (0997) 52-1111

FAX (0997) 52-2815

Eメール：gikai@city.amami.lg.jp

第3回定例会一般質問・・・・・・・・・・2P～6P

定例会の主な議案、請願・陳情・・・・・・・・7P

常任委員会の審査概要・・・・・・・・・・8P～9P

決算に関する特別委員会の審査概要・9P～10P

奄美市議会のしくみ・・・・・・・・・・10P

議会の動き・・・・・・・・・・11P

第三回定例会 第一般質問

九月八日、九日、十日の三日間で十二名の議員が市政全般について市当局に問いただきました。要約を紹介します。

(質問順に掲載)

子育て支援について



多田 義一
(新電美)

問 今回の風営法の改正に伴い屋仁川通りのスナックなど営業時間が延長される可能性があるが、市の考えは。

答 県において、社交飲食業組合をはじめとする事業者やお住いの方々から幅広く意見を集約していると伺っており、今後市としてどのような対応が適切か判断していく。

問 末広港土地区画整備事業について、現在行っている出店支援制度は短期的な施策であり、中長

期的な商店街で事業を行っていく支援策として、借り入れ利息補助など行えないか。

答 利子補給制度も一つの方策、通り会連合会との意見交換や中心市街地活性化協議会の中で、検討を行っていく。

問 子育て支援について、待機児童対策についてどう考えているのか。

答 平成二十九年度には待機児童ゼロの目標に、



既存の認可外保育施設等の新制度へ移行促進に努めることなどを含め、待機児童の解消を図りたい。



ふるさと納税制度について



元野 景一
(自由民主党)

問 ふるさと納税制度について、(1)ふるさと納税制度に対する奄美市の考え方を伺う。

答 本市においては、平成二十年度から納税寄附金に取り組んでいる、これまで三千万円のご寄附を頂いており、貴重な自主財源として全国各自治体においても色々な取り組みがされており、特産品振興のためにふるさと納税を活用するなど、地域活性化の取組に活用が広がっている。

本市においても、ふるさと

と納税寄附者に対するお礼状に加え、マンゴー、たんかん、地場産加工品を送るなど特産品を活用PRして、振興に努めている。

問 ふるさと納税の特別プロジェクトチームを形成し、一年間で十四億円のふるさと納税日本一を集めた長崎県平土市のようにな奄美市として取り組む考えはないか。ぜひ、早急な対策を要望する。

答 予算関係のこともあり、今すぐの答はできませんが、庁内でも検討している。



ふるさと納税 お礼品

大島北高等学校の支援は

ひらひら
ひさよし
平川 久嘉
(市民クラブ)



問 大島北高の生徒確保の活動状況及び行政の支援について

答 島内の中学生が減少していく中、厳しい面があるが、毎年二日体験入学を行い、昨年度は二十八名の参加でしたが、本年度は六十一名の参加があり、大島北高に関心を持つ生徒が増えている。北大島の重要な高校存続のため、今後も各方面と連携を図り生徒確保に努める。行政支援として北高振興協議会への助成や通学費補助、部活動補助等を行い、学校、PTA同窓会、地域住民が一体となって北

高魅力化・活性化に取り組んでいる。

問 若者の雇用を創出する事業について

答 雇用創出に繋がる事業として「緊急雇用事業」「地域雇用サポート事業」を実施、特に若者雇用に関する事業では「高卒ルーキー雇用奨励補助事業」「新規高卒者を正規雇用した市内企業へ補助金を支給し、三十五人の雇用に繋げ、インターンシップ補助では、企業で職業体験した大学生など六十六人の促進ができた。課題は、企業の雇用条件の改善である認識している。

家庭等への消火器設置について

やすだ
そうへい
安田 壮平
(無所属)



問 高齢者など災害弱者のみの世帯が増える中で、防災のために情報共有に向けた仕組みを構築することはできないか。

答 現在九自治会において「地域見守りネットワーク」を運用しているが、広がりが見られないのが課題。他にも地域包括支援センター等が地域の民生委員等と個別に調整を図っているが、全体的な体制作りには至っていない。

問 家庭等への消火器設置について、支援できないか。

答 自主防災組織を設立

している自治会には資機材整備助成金制度があるが、個人の家庭に設置義務はなく、支援制度もない。

問 住用川のコイへの対応は。

答 九月にも国・県と共同で捕獲作業を実施する予定。

問 本市への転入者などのように飼猫登録制度を広報しているのか。

答 転入者に渡す書類一式の中にチラシを入れていく。

問 飼猫登録について更新制度を導入してはどうか。

答 登録後の変更については飼主の努力義務に依ってきたが、今年度中に往復はがきで確認を行い、実態の把握に努めた。

小宿区画整備事業の見直しについて

さきた
のひまな
崎田 信正
(日本共産党)



問 小宿区画整備事業の見直しについて

答 現在の合意形成は七十八パーセントで変化ない、合意形成の向上を図るために、「小宿区画整理促進協議会」等の協力を得ながら、丁寧な説明を行うしていきたい。

問 介護保険の要支援1と2は、地域支援事業に平成三十年三月までに移行が取組状況は

答 サービスは①現業どおりのサービス②緩和した基準によるサービス③

住民主体による支援などに区分される。その内容や料金は、これから協議を行う予定。ケアプランの精査、各事業者やNPO法人などとの簡易サービス提供についての協議、新たなサービスの創出、地域による助け合い活動の活性化などに取り組む生活支援コーネクターの配置などを予定し、支障なく移行できるように準備したい。

問 奄美和光園将来構想検討委員会は、解散か。

答 入所者自治会の意向を受け策定され、和光園自治会にお返しした時点でその役割は終了した。

パニラ効果について

戸内 恭次 (無所属)



問 パニラ効果について

答 平成二十六年七月に就航後一年間十万人が利用し、奄美群島の交流人口拡大に大変弾みがついた。その経済効果は約四十二億五千五百万円である。

問 空港ビル拡張について

答 整備する箇所や拡充する機能は、関係機関から意見を求め、早急な対応を検討する。

問 JACへの補助金について

答 平成八年度から平成十七年度にかけて五機の機材購入に対し、国、県

から約六十四億五千万円の補助があった。

問 JACからの株主配当について

答 平成二十六年度は約二千七百万円が奄美市への配当額であった。

問 フルマラソン大会について

答 商工会議所からフルマラソンの実施について相談があれば、内容を精査した上で、検討する。

その他の質問事項

○ 海岸線のゴミ対策の件

○ 平松集会場建設の件

○ 塩浜集会場整備の件

○ 地方創生に関し奄美市の取組について

人口増対策について

栄 勝正 (市民クラブ)



問 人口増対策について

小学生までの医療費助成は出来ないのか。

答 小学生分の医療費全額を市の単独で助成するとなると、本市の財政状況からみましても大変厳しいと思う。財政状況等を慎重に意見極めながら、検討する。

問 若者の雇用について、島外の若者への雇用広報活動はどうなっているか

答 島外の大学生へのPRが重要な事から、本市

では島内出身者が進学した大学を中心に全国四百大学へチラシを配布し、大学内掲示板へ掲載を依頼している。

問 修学旅行や体験事業、グランドゴルフ大会などは開催出来ないのか。

答 修学旅行の誘致を各旅行会社へ出向き奄美のPRに努めている。

協賛会や企業、団体の皆様と、内容、運営を検討する必要があると思う。

全国規模の愛好者がいるイベントの誘致を図る事は、経済効果も大きいと認識している。

生活困窮者支援制度について

栄 ヤスエ (公明党)



問 生活困窮者支援制度について

答 生活保護受給者以外の生活困窮者への支援を行い、第二のセーフティネットである。本市では自立相談支援事業と住宅確保給付金の支給を実施している。

問 十八歳選挙権について

答 高校生や専門学校で、出前講座や選挙講座、模擬投票等を開催予定。

問 救急救命におけるAED活用等について。

答 本市では、百二十六

施設に百三十八台設置してある。救急法講習会を実施し、平成二十六年中は、九十五施設の二千六百八十五名が受講した。二十四時間営業のコンビニやレストラン等に、AEDを設置した場合、非常に有効な場所になる。

問 「飼い猫の適正な飼養及び管理に関する条例」等、ノネコ・野良猫対策について

答 世界自然遺産登録を目指す本市においては、希少動物を捕食するノネコ存在は脅威だ。野良猫をいかに増殖させないかが喫緊の課題である。

奄美市総合計画の

現状と課題について

関 誠之（社会民主党）



問 奄美市総合計画の現状と課題について

答 名瀬地区は、未広・港土地区画、名瀬港本港地区整備事業や中心市街地共同住宅整備促進事業等の計画どおりの完了が課題である。

問 住用・笠利地区における重点プロジェクトの達成割合、地域活性化はどのように図られたか。

答 住用は「森と水のまち住用観光プロジェクト計画書」を作成、笠利は「歴史回廊のまち笠利観光プロジェクト事業」を実施、

活性化を図っている。

問 自衛隊基地に隣接する住民に対する説明会を。

答 国との協議を踏まえ、開催時期等を検討する。

問 学校給食センター建設について

答 計画を進めるにあたっては、しっかりと段階を踏んで進める。

問 保護者に対する説明会の概要を示せ。

答 保護者の質問は「災害時の対応、食中毒など事故発生時、給食費や給食の質の低下、食材の調達、食育に関すること」で、回答は整理したうえで保護者にお知らせする。

市長の政治姿勢について

川口 幸義（無所属）



問 市長の政治姿勢について

答 公契約条例と公共事業の在り方ですが、労働条項（報酬限度額）の定められている公契約条例は千葉県野田市をはじめ約十七の自治体で制定され、本市も公契約において発注者、受注者及び下請負者等の責務を明らかにし、労働者の賃金等適正な労働条件を確保する目的の一つと理解している。条例制定にあたっては、第二回定例会において陳情第七号が採択され、その処理状況の中で

も報告している。公正な賃金確保等に関する陳情の審査となった「平成二十四年度陳情第五号公契約に公正賃金確保等に関する陳情」の審査動向を注視し、今後の研究課題と考えている。

問 本市の指名委員会のあり方について

答 指名通知において「同日に開札する工事で落札した場合は、その後の入札案件については辞退扱いとする」旨の条件を付して、同じ業者が落札することがないように考慮している。

大島本島ロープウェイ構想について

西 公郎（無所属）



問 大島本島ロープウェイ構想について

答 国県地元自治体などで構想されます「地域連絡会議」において十分に議論しながら検討したい。

問 保育士確保を緊急雇用対策で進めるべきでは。

答 事業者が保育士確保を行うことは経済的に困難を伴うので緊急雇用創出事業で保育士の雇用に

対応することは有効である。

問 本市における文化面、芸能面での表彰制度は。

答 文化面、芸能面での表彰制度は創設していません。本市市制施行十周年記念事業の中で検討したい。

問 自衛隊基地周辺整備事業費の活用をどの様に考えているか。

答 防衛省の担当者と連携を密にし対応して参りたい。

その他の質問事項

○今後各教室へのクーラー整備について

○光ファイバー未整備地区今後の方向性について

○平松地区消防団待機室整備の方向性について

○住用マンガロープパーク子ども向け遊具の取替等について

地方創生に向けた 取組状況は

竹山 耕平 (新国会)



問 地方創生に向けた取組状況は。また、郡都機能を持つ奄美市が他町村を巻き込んでリードしていくのか。

答 今年度は、奄美大島五市町村連携して、夕日を活用したサンセットプロモーション事業を申請している。本市は群島の中でも多くの人口と経済規模を有し、群島の地域経済の重要な役割を担っている。他町村や国・県との連携を図っていく。

問 現在の乳幼児医療費助成制度では通院費・入院費等が一体化された制

度となっている。今後は分別を行い同制度の対象年齢の拡大を図ってもらいたい。

答 現在の制度では医療費に関わる費用が一本化されており、対象年齢を中学生まで拡大すると市の単独費用で約七千万円増える。今後は分別した医療費を試算することを検証したい。

- その他の質問事項
- 福岡市への奄美事務所開設について
 - 末広・港土地区画整理事業について
 - 教育行政について

世界自然遺産登録に向けた 交流の拡充について

叶 幸與 (公明党)



問 世界自然遺産登録に向けた島づたい観光連携、交流の拡充について

答 群島間の乗継割引運賃については十月下旬に発表する。今後の奄美空港のハブ空港化及び離島観光の活性化につながるものと期待する。また便数の増便と複数の奄美群島を周遊する観光ニーズに対応できるダイヤの工夫などの検討が必要である。

問 台風に強い鉄骨ハウスの導入は考えられないか。

答 県が定めた「鹿児島県園芸施設ガイドブック」に基づき導入できるが、パイプハウスより建設費が高額となるため、施設整備費と農作物の収益等を比較した費用対効果が高い農業者の事業要望計画が優先されるので、栽培作物の検討等と併せ地域の特性に考慮した事業導入を検討する必要がある。

- その他の質問事項
- 自衛隊員家族宿舎を声花部に誘致する考えは。
 - 大熊・有良間のトンネルの計画について
 - 下佐大熊住宅計画について
 - 認知症のひとを含む高齢者にやさしい地域づくり

平成 27 年度 議会報告会

平成 28 年 2 月 5 日 (金) 開催予定です。

(名瀬地区、住用地区、笠利地区)

あなたのまちの議会を間近で見ませんか！！

平成 27 年第 4 回定例会は 12 月 7 日開会予定です

一般質問は、12月8日(火)から11日(金)までの予定です。(質問者は未定)
議会の傍聴は奄美市役所名瀬庁舎6階へお越しください。議会で行われる本会議や一般質問は、インターネットの生中継でもご覧いただけます。
奄美市ホームページの「奄美市議会」「会議の傍聴」「議会中継」へとお進みください。
また、過去の議会の議事録も奄美市ホームページから閲覧できます。「奄美市議会」の「奄美市議会の概要」をクリックし、「会議録閲覧」をご覧ください。

平成 27 年 第 1 回 奄 美 市 議 会 臨 時 会 の 議 案

件 名	議決結果
専決処分の承認を求めることについて (専決第 11 号 平成 27 年度奄美市一般会計補正予算(第 2 号)について)	承認
平成 27 年度奄美市一般会計補正予算(第 3 号)について	原案可決

第 3 回 定 例 会 の 主 な 議 案

件 名	議決結果
平成 27 年度奄美市一般会計補正予算(第 4 号)について	原案可決
平成 27 年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算(第 2 号)について	原案可決
平成 27 年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算(第 2 号)について	原案可決
平成 27 年度奄美市公共下水道事業特別会計補正予算(第 1 号)について	原案可決
平成 27 年度奄美市農業集落排水事業特別会計補正予算(第 1 号)について	原案可決
平成 27 年度奄美市水道事業会計補正予算(第 1 号)について	原案可決
奄美市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市農業用ビニールハウス使用料徴収条例を廃止する条例の制定について	原案可決
字の区域の変更について	原案可決
工事請負契約の締結について	原案可決
工事請負契約の締結について	原案可決
工事請負契約の締結について	原案可決
子ども医療費無料化に関する意見書の提出について	原案可決
平成 26 年度奄美市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
平成 26 年度奄美市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
平成 26 年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計歳入歳出決算認定について	認定
平成 26 年度奄美市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
平成 26 年度奄美市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
平成 26 年度奄美市訪問看護特別会計歳入歳出決算認定について	認定
平成 26 年度奄美市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
平成 26 年度奄美市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
平成 26 年度奄美市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
平成 26 年度奄美市ふるさと創生人材育成資金特別会計歳入歳出決算認定について	認定
平成 26 年度奄美市と畜場特別会計歳入歳出決算認定について	認定
平成 26 年度奄美市交通災害共済特別会計歳入歳出決算認定について	認定
平成 26 年度奄美市水道事業会計の利益処分及び決算認定について	原案可決 及び認定
奄美市人権擁護委員候補者の推薦について(益満 久美氏)	承認
奄美市人権擁護委員候補者の推薦について(花井 牧子氏)	承認
平成 27 年度奄美市一般会計補正予算(第 5 号)について	原案可決

請願・陳情の状況

番号	件名	提出者	結果
請願第3号	学校給食センターを性急に建設しないよう求める請願	子どもたちの健康と権利を守る保護者の会 岡 千草	一部採択
陳情第12号	防災避難所及び多機能型複合施設建設に関する陳情	久木山 達磨	継続審査
陳情第13号	陸上自衛隊警備部隊・ミサイル部隊配備に関する市民への説明会を奄美市長が開催することを求める陳情	集団的自衛権行使と戦争のための自衛隊配備に反対する奄美ネットワーク代表 城村 典文	採択

※前議会からの継続審査

件名	議決結果
公契約における公正な賃金確保等に関する陳情	採択
「集団的自衛権の行使を具体化する法案について廃案にすることを求める意見書」を政府に提出することを求める陳情	不採択
集団的自衛権行使を具体化する「安全保障関連法案」の廃案を求める陳情	不採択
女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める陳情	継続審査
子ども医療費無料化に関する陳情	採択

第三回定例会 常任委員会の審査概要

第三回定例会における常任委員会では、九月十五日に文教厚生・産業建設十六日に総務企画のそれぞれの委員会で議案・陳情について審査しました。常任委員会での審査についてご紹介します。

総務企画委員会

総務企画委員会では、議案二件及び陳情六件（陳情第十二号、十三号、六号、八号、九号、平成二十四年陳情第五号）を審査し、議案一件を原案のとおり可決すべきものと決し、陳情六件のうち四件（十三号、六号、八号、平成二十四年陳情第五号）を採択すべきもの、一件（十二号、九号）を継続審査と決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、当局からLED街灯への切替を支援するため、街灯

設置費補助金千七百五十三万円を計上した。この補正により、全四千三百四十四灯の内、千五百四十二灯がLED街灯となり、およそ三十五・五パーセントの進捗との説明がありました。委員から、来年度の進捗率の目標値はどれくらいか、また、百パーセントになったと仮定して、電気料はどれくらい変わるのかとの質疑があり、当局から、今年度から約五年間で七十二・三パーセントの目標としている。さらに十年間をかけてほぼ百パーセントに近い形で進めて行きたい。電気料について九州電力に確認したところ、蛍光灯の場合、一灯あたり二か月で二百八十円だが、これがLEDの場合だと百三十六円になるとの答弁がありました。

文教厚生委員会

文教厚生委員会では、議案七件（第五十号、五十一号、五十二号、五十七号、六十号、六十一号、六十七号）、請願一件（第二号）及び陳情一件（第十号）を審査し、議案七件を原案のとおり可決すべきものと決し、請願一件（第三号）を一部採択すべきもの、陳情一件（第十号）は、採択すべきものと決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、市民後見推進業務委託料として、三百九十八万二千円、ファミリーサポートセンター業務委託料として二百四十七万二千円、教職員住宅修繕料として五十万円、奄美旧暦行事カレンダー印刷製本費として五十万円を計上した等の説明がありました。

市民後見人制度について質疑があり、一般市民も後見人になれるように既定の科目を受講して、講義を半年間行うとの説明がありました。小中一貫教育推進事業について質疑があり、小中併設校である東城

小中学校を中心に児童生徒の学力向上や不登校の減少に向けて、どのようなカリキュラムや指導方法がいいのか、実践的な研究を行っていくとの説明でした。

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定については、この事業の従事者の保育士不足を補うため、保健師、看護師を保育士とみなす規定に新たに、准看護師を加え、保育士不足を補うための改正であると説明がありました。

工事請負契約の締結については、金久中学校屋内運動場改築工事と小湊小学校校舎改築工事との説明があり、屋内運動場について避難所としての機能はあるかとの質疑があり、二階建てで、シャワールームも完備されるので、多数の人を収容できる屋内運動場であると説明がありました。

産業建設委員会

産業建設委員会では、議案

六件を審査し、すべて原案のとおり可決すべきものと決しました。主な審査の内容は次のとおりです。

一般会計補正予算の主なものは、林業振興費の八百七十四万八千円は、県補助事業の里山林機能回復事業に伴うもので一次配分事業費の確定によるもの。一千万円の土木機械借上料は、市の単独事業で松くい虫による危険木の伐倒除去を行うもの。商工費の振興開発費では、七月に連携協定を締結したランサーズ(株)の事業内容と効果について質疑があり、事業内容は、インターネット上で企業が仕事を発注し、それを個人が受ける、その業務を仲介する会社でフリーランス(特定の企業に属さない個人、又は個人事業主)を支援するもの。特定の企業に属さない個人や子育てをされている主婦などがインターネットを介して仕事をつくの出し副収入を得ようとするもの。この仕事は、時間と場所にとらわれないため全国ででき奄美は、自然にも恵まれており定住という点でも有効な手段だと考えているとの答

弁。公共下水道事業特別会計補正予算の主なものは、大笠利浄化センターの非常用発電装置を修繕するもの。名瀬終末処理場の今後の事業計画について質疑があり、終末処理場は、平成二十五年から長寿命化計画により事業を進めており平成三十年度までの計画、総事業費は、約十億八千万円を予定しているとの答弁。水道事業会計補正予算の主なものは、新川下流の不安勝橋の老朽化による撤去に伴い添架されていた配水管の布設替え工事との説明。字の区域の変更は、笠利町屋仁地区の県営畑地帯総合整備事業の換地処分に伴い字の区域の変更を行うものとの説明がありました。



ヒカゲヘゴ

平成二十六年年度決算に関する特別委員会の審査概要

【一般会計等決算審査】

一般会計決算等審査特別委員会は、三日間開会し、認定すべきものと決しました。

総務費では、委員からコンビニエンスストアでの市税等の収納についての質疑に今年四月から十七の店舗で取扱いができるようになったと答弁。

地域協議会についての質疑に東日本大震災で市町村建設計画が5年間延長されたことから地域協議会も5年間延長すべきと考えていると答弁。また、滞納徴収の方法についての質疑に二百八十件の差押えを行ったと答弁がありました。民生費では、精神障害者の扶助費について質疑があり予防策としては、精神疾患の状態が悪くなる前に早めに相談を受け、手帳を所持していない方でも病院等の受診を勧めていると答弁。衛生費では、ハブ買上げは、八千六百三十一匹で二千五百八十七万八千円との説

明。労働費では、緊急雇用創出臨時特別基金事業で市が直接実施した事業は二事業、決算額二百五十万三千八百七十円で一人の雇用、外部へ委託して実施した事業は二事業、決算額一億三千五百九十八万二千六百七十九人の雇用との説明。農

林水産業費では、耕作放棄地についての質疑に、すぐに耕作可能な農地で百三十八ヘクタール(名瀬四十五ヘクタール・住用二十三ヘクタール・笠利四十五ヘクタール)と答弁。土木費では、住宅リフォーム等緊急経済対策事業は、交付決定件数二百件、総額は約一億二千一百万円と補助額千九百二十四万五千円との説明。市営住宅の建替えについての質疑に家賃が三倍以上になることが予想されるので慎重に検討したいと答弁。教育費では、公民館図書室の蔵書数は、三地区で五万四千五十九冊との答弁。公債費では、今後の計画について質疑があり、一般会計での起債のピークは、三十年度で

四十億五千六百万円、三十一年度で二十七億四千九百万円を見込んでいます。これは本庁舎の建設によるもので、その後については今のところ段階的に減っていくと思われるとの答弁がありました。

【特別会計等決算審査】

特別会計決算等審査特別委員会では、十二件の特別会計決算議案について審査し、いずれも原案のおおりに可決すべきものと決しました。

ふるさと創生人材育成資金特別会計では、奨学金の滞納についての質疑があり、現在九十四人が滞納しているとの説明がありました。委員から基金が足りなくなると次世代の子ども達も利用できなくなる可能性もあることから、滞納者に対する催告・督促など回収業務を強化するよう指摘がありました。

公共下水道特別会計では、下水道事業概要についての質疑があり、平成二十六年末の整備状況は

五百四・四ヘクタール、整備率は九二・三八パーセント、処理開始区域内の普及人口は三万四千八百七十二人、普及率は九三・五パーセント、水洗化人口は三万三千四百九十九人、水洗化率は九五・〇六パーセントとの説明がありました。

交通災害共済特別会計では、委員から三地区の加入状況と加入率アップの取組について質疑があり、加入率は、名瀬二二・二パーセント、住用四五・四パーセント、笠利四三・六パーセントである。取組としては、市内小中学校・高校での出張受付、自治会・老人クラブ等での啓発活動、名瀬地区二百一十二件の事業所での加入依頼等を行っているとの説明がありました。

国民健康保険事業特別会計では、特定健診率の前年度比についての質疑があり、平成二十五年度は受診率三十四・〇パーセント、平成二十六年度は三十四・三パーセントで、〇・

三パーセントの受診率上昇との説明がありました。

国民健康保険直営診療施設勘定特別会計では、笠利診療所の医科の外来患者数が増えているがその要因は何かとの質疑があり、訪問看護ステーションの委託も行っており、先生の指示により在宅での療養を行うような訪問看護と連携した運営が図られているためとの説明がありました。

と畜場特別会計では、と畜場新規建設の必要性をどのように考えているかとの質疑があり、必要性については十分認識している。庁内であり方検討会を立ち上げ現場視察等を行い、財源、場所を考慮し、現在広域化を含めて検討しているとの説明がありました。

公共用地先行取得事業特別会計では、土地の貸付は一般会計に入るのかとの質疑に対し、貸付収入は一般会計として受け入れ、公債費の場合はこの会計に出てくるが、残った分は通常の事業の財源にするとの説明がありました。

奄美市議会のしくみ

* 議員数 24人の議員がいます。

議長 1人 副議長 1人 議会運営委員長 1人

3常任委員会委員長 3人（総務企画委員会、文教厚生委員会、産業建設委員会）

* 定例会 1年間に4回開催されます。

3月：6月：9月：12月（議会は年度ではなく、暦年1月～12月をつかいます。）

* 議会基本条例

議会の公正性・透明性を確保し、市民に開かれた議会、市民参加を推進する議会を目指して、平成22年7月に制定されました。（H22.7.12 施行）

この条例に基づいて、奄美市（名瀬・住用・笠利）の3か所で議会報告会を開催し、市民の皆さんへ議会活動の報告を行うと同時に市民の皆さんの意見や要望を聴いています。

* 本会議中継

年に4回開催される本会議の様子をインターネットで生中継しています。

* 会議録の作成

年に4回開催される議会ごとに、本会議で審議されたすべての内容をまとめた会議録を作成しています。国会議員・県議会議員・国立国会図書館・県立図書館・県立奄美図書館・名瀬公民館などにも提供しています。

* 議会だより

年に4回開催される議会ごとに、委員会の審議内容や議員の一般質問の内容、制定された条例等を掲載した議会だよりを作成し、奄美市の全家庭へ配布して議会の内容を知らせています。

議 会 の 動 き

- | | | | |
|-------|-----|-----|-------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 平成27年 | 8月 | 4日 | 大島本島地区さとうきび生産振興大会 |
| 平成27年 | 8月 | 5日 | 第1回臨時議会 |
| | | 15日 | 奄美市住用戦没者慰霊祭（住用公民館）
奄美市名瀬戦没者合同慰霊祭（名瀬中央公民館） |
| | | 20日 | 世界自然遺産登録推進特別委員会 |
| | | 24日 | 奄美市議会第3回定例会招集告示・議案配布 |
| | | 26日 | 議会運営委員会 |
| | 9月 | 4日 | 訪問介護ステーション日和（ひより）開業祝賀会 |
| | | 7日 | 奄美市議会第3回定例会開会，全員協議会 |
| | | 8日 | 一般質問 — 多田議員，元野議員，平川議員，安田議員，
崎田議員 |
| | | 9日 | 一般質問 — 戸内議員，栄（勝）議員，栄（ヤ）議員，関議員， |
| | | 10日 | 一般質問 — 川口議員，西議員，竹山議員，叶議員 |
| | | 12日 | 赤木名小学校新体育館落成式典
特別養護老人ホーム芦穂の里敬老会 |
| | | 14日 | 本会議，全員協議会 |
| | | 15日 | 文教厚生委員会審査，産業建設委員会審査 |
| | | 16日 | 総務企画委員会審査
ハンセン病違憲国家賠償訴訟西日本弁護士との意見交換会 |
| | | 21日 | 奄美市「敬老の日祝賀会」 |
| | | 24日 | 本会議 |
| | | 25日 | 一般会計決算等審査特別委員会，特別会計決算等審査特別委員会 |
| | | 28日 | 一般会計決算等審査特別委員会，特別会計決算等審査特別委員会 |
| | | 29日 | 一般会計決算等審査特別委員会， |
| 10月 | 1日 | | 奄美・やんばる広域圏交流推進協議会（徳之島町） |
| | 4日 | | 芝山町町施行60周年記念式典（千葉県）
第70回東京笠利会総会（東京都） |
| | 6日 | | 議会運営委員会 |
| | 9日 | | 最終本会議 |
| | 10日 | | 金久中学校創立60周年記念式典（奄美文化センター）
カケハシインターナショナルスクール奄美校開校入学式
（日本語学校）
虹の丘開設20周年記念式典・祝賀会（奄美観光ホテル） |
| | 11日 | | 第27回名瀬地区福祉スポーツ大会（サンドーム）
第110回笠利町招魂祭相撲大会（太陽が丘運動公園）
第56回住用地区体育祭（東城小中学校グラウンド） |
| | 16日 | | 第110回笠利招魂祭 |
| | 18日 | | 市議会議員選挙告示
第60回笠利地区市民体育祭 |
| | 25日 | | 市議会議員選挙投開票 |
| | 31日 | | 第55回近畿笠利会総会及び敬老会（尼崎市） |

訃報のお知らせ

渡京一郎市議会議員が、平成27年11月7日午後6時48分にご病気により享年68歳にて永眠されました。
渡氏は、1999年に旧住用村議会議員に初当選し、奄美市合併まで村議2期。合併後の市議選でも今回を含め、連続3回当選。総務建設委員長、議会運営委員長などを歴任しました。ご冥福をお祈りし、謹んでお知らせ申し上げます。





赤木名小学校体育館落成式 9月12日撮影



第五十八回任用地区体育祭
（東城小中学校グラウンドにて）
十月十一日撮影



プリ国民文化祭
第四十回奄美市民文化祭
十月三十一日撮影



編集あとがき

市民の皆さんが読みたいと思いたい心待ちにするような、楽しくて独創的な議会だよりはできないものだろうかの想いを込めて、四年前、編集委員長に選任していただき、編集委員と共に考え、提案し改革も試みたが、思うようにはいかなかった。

ただ一つ「記者のよくな心で一党一派に属せず、委員が名前を明記して責任を持って編集あとがきを担当してほしい担当者指名は編集長に一任を」との願いを受け入れてもらい、一人ひとりが思い思いの編集あとがきを書くことからはじまりました。

私にとって、この「コマを読むのは、唯一の喜びであった。個性があり口頃見せない姿・癖・想いが見え隠れしながら、見事にまとめあげられた。

それぞれの名文がありました。ともあれ、一期四年の役割を終え、先ずは市民の皆さんにお礼と、なかなか紙面を改革できなかったお詫びと共に、委員の皆さんと事務局のスタッフに心から感謝。次回新編集委員会によるさらなる紙面の改革を願いながら編集長としての役割を閉じたいと思います。ありがとうございます。（元野 景一）

市議会だより編集委員会

- 委員長 元野 景一
副委員長 竹山 耕平
委員 西 公郎
 栄 ヤスエ
 多田 義一
 関 誠之
 平川 久嘉
 渡 京一郎
 崎田 信正

奄美市議会ホームページアドレス <http://www.city.amami.lg.jp/amami02/amami24.asp>